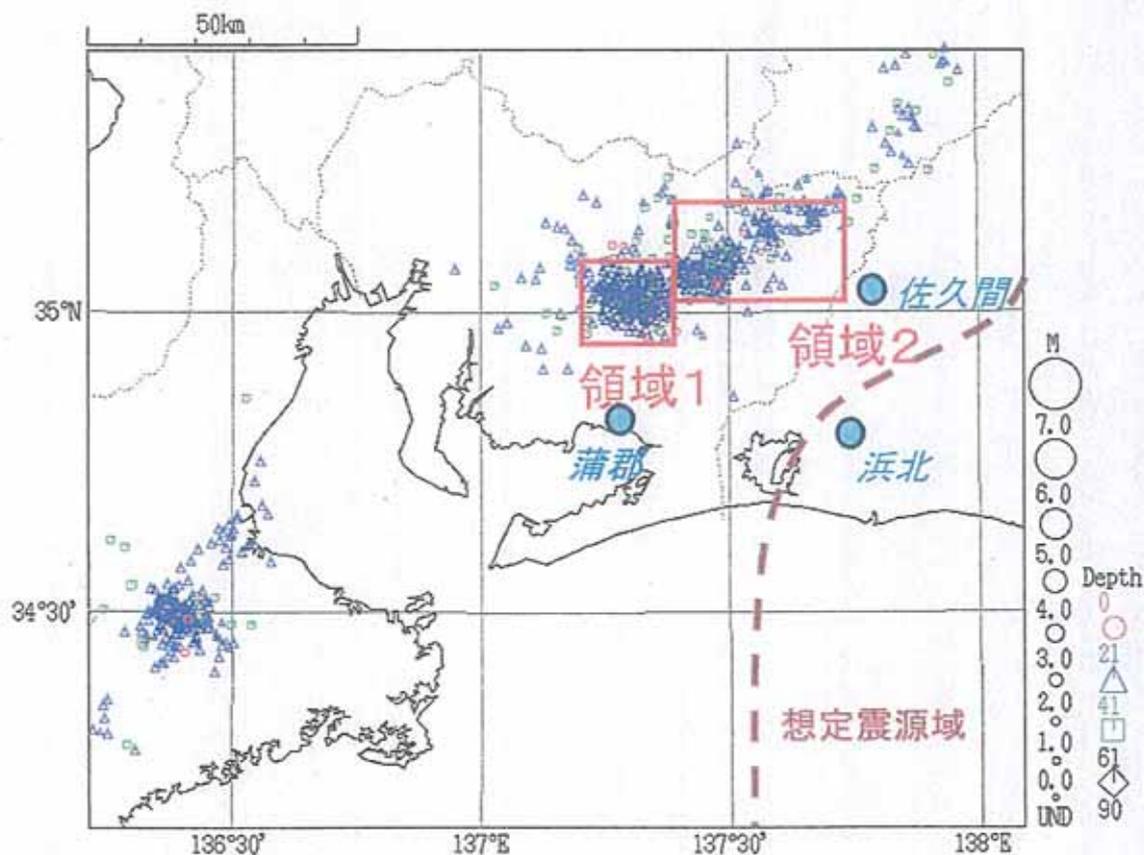


第1図 歪変化の発現と低周波地震の対応（調査期間 1999年9月—2005年8月）。

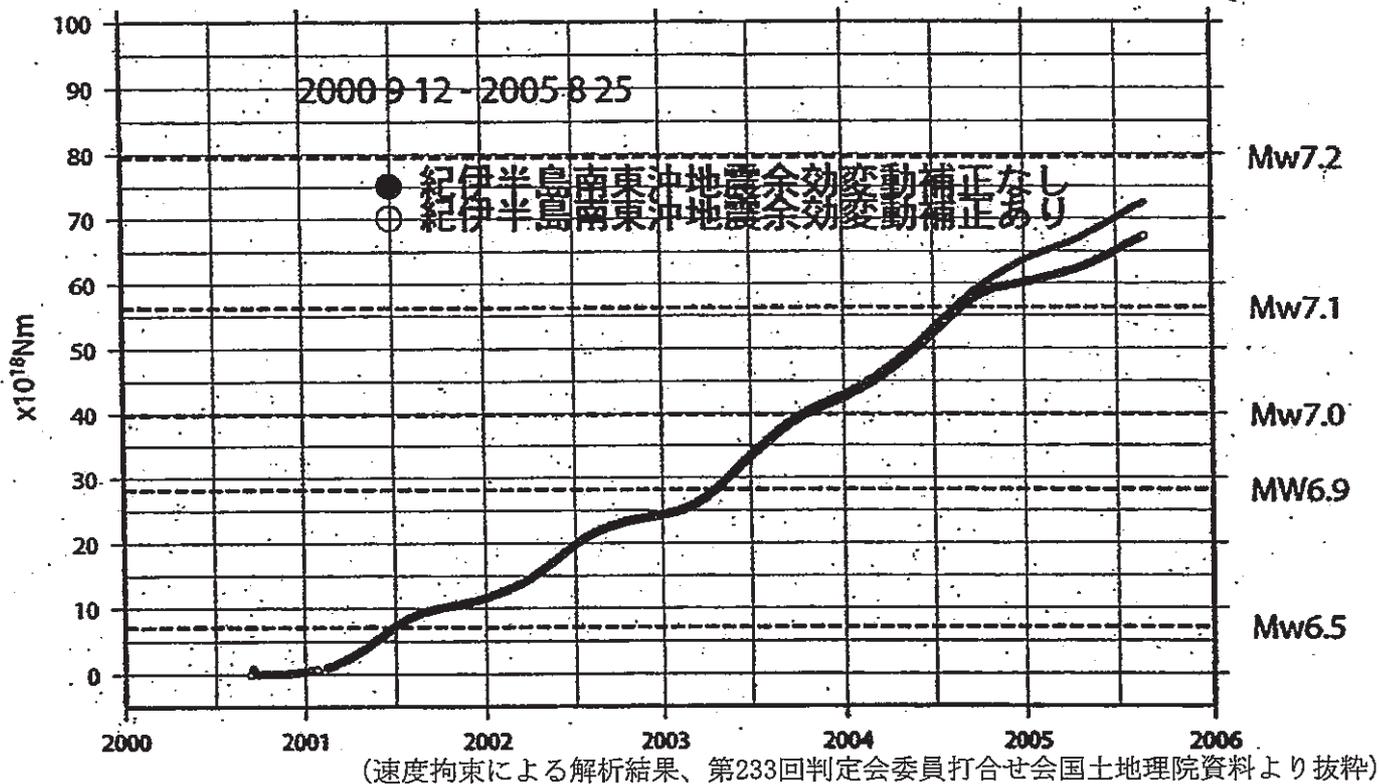


第2図 2004年の愛知県東部と三重県中部の低周波地震の震央分布図。
領域1で低周波地震が発生するとタイプAの歪変化が見られ、領域2で発生するとタイプBの歪変化となる。

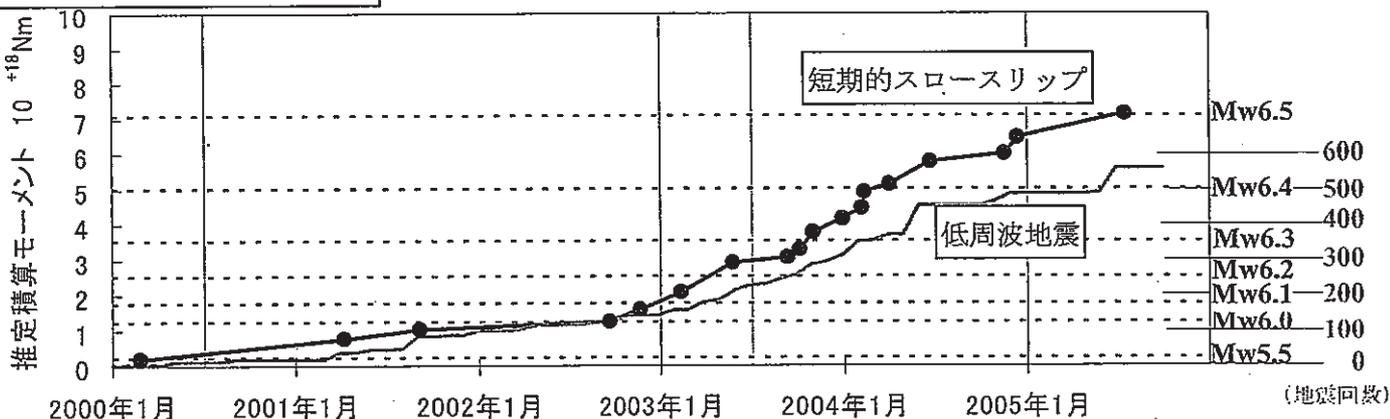
長期的スロースリップと短期的スロースリップの推定モーメントの時間変化

長期的スロースリップ

推定モーメントの時間変化



短期的スロースリップ



上の図は、国土地理院の解析による長期的なスロースリップの積算モーメントの時間変化。
下の図は、愛知県のスロースリップの積算モーメントの時間変化 (●) と愛知県の深部低周波地震 (ただしM0.3以上) の月単位の積算地震回数 (灰色実線)。

2005年8月までの積算モーメントを比較すると長期的スロースリップがMw7.1~7.2であるのに対して、短期的スロースリップはMw6.5程度となり、長期的スロースリップに比べて短期的スロースリップの規模はかなり小さいことが分かる。